

# 枕草子『九月ばかり』定期テスト対策問題 | 現代語訳・文法・内容の頻出設問と解答

組 番 氏名

／100点

## 本文

九月ばかり、夜一夜〔①〕降り明かしつる〔②〕雨の、今朝はやみて、朝日いとけざやかに〔③〕さし出でたるに、前栽〔④〕の露こぼるばかり〔⑤〕濡れかかりたるも、いとをかし。透垣の羅文、軒の上などは、かいたる〔⑥〕蜘蛛の巣のこぼれ残りたるに、雨のかかりたるが、白き玉を貫きたるやうなるこそ、いみじうあはれにをかしけれ〔⑦〕。

少し日たけぬれば〔⑧〕、萩などいと重げなる〔⑨〕に、露の落つるに、枝のうち動きて、人も手触れぬに〔⑩〕、ふと上さまへ上がりたる〔⑪〕も、いみじうをかし、と言ひたることどもの、人の心にはつゆをかしからじ〔⑫〕と思ふこそ、またをかしけれ〔⑬〕。

## 設問

1. 「九月ばかり」の「九月」の読みを答えよ。また、「ばかり」のここでの意味を答えよ。
2. 傍線部①「夜一夜」の読みと意味を答えよ。
3. 傍線部②「降り明かしつる」の「つる」の基本形・文法的意味・活用形を答えよ。また、その活用形だと判断できる根拠を簡潔に述べよ。
4. 本文の場面は、一晩中雨の降った「翌朝」である。古文で「早朝（夜が明けて間もないころ）」を表す語を、平仮名四字で答えよ。
5. 傍線部③「けざやかに」の意味を答えよ。
6. 傍線部④「前栽」の読みと意味を答えよ。
7. 傍線部⑤「こぼるばかり」を現代語訳せよ。「ばかり」の意味がわかるように訳すこと。
8. 「いとをかし」の「をかし」の意味を答えよ。また、「をかし」と「あはれなり」の表す趣の違いを簡潔に説明せよ。
9. 「透垣の羅文」の読みを答えよ。また、「透垣」とはどのようなものか説明せよ。
10. 傍線部⑥「かいたる」の「かい」は、ある動詞の連用形が音便化したものである。もとの形と音便の種類を答えよ。また、「かいたる蜘蛛の巣」を現代語訳せよ。
11. 傍線部⑦には係り結びが用いられている。係助詞と、結びの語・その活用形を指摘せよ。
12. 傍線部⑦を現代語訳せよ。
13. 「いみじう」は、ある形容詞の連用形が音便化した形である。もとの形と音便の種類、ここでの意味を答えよ。

14. 雨のかかった蜘蛛の巣のようすを、作者は何にたとえているか。また、「やうなる」の基本形「やうなり」の文法的意味を答えよ。
15. 傍線部⑧「日たけぬれば」の「たけ」の意味と、「ぬれば」の文法的説明（助動詞の基本形・意味・活用形と、表す条件の種類）を答えよ。
16. 傍線部⑨「重げなる」の「げ」はどのような意味を添えるか。また、萩が「重げ」に見えるのはなぜか。
17. 傍線部⑩「人も手触れぬに」の「ぬ」の基本形・文法的意味・活用形を答えよ。また、完了の助動詞「ぬ」ではないと判断できる根拠を簡潔に述べよ。
18. 傍線部⑩～⑪「人も手触れぬに、ふと上ぎまへ上がりたるも」を現代語訳せよ。
19. 枝が「ふと上ぎまへ上が」るのはなぜか。その理由を説明せよ。
20. 傍線部⑫「つゆをかしからじ」について、「じ」の文法的意味と、副詞「つゆ」の用法を説明したうえで、現代語訳せよ。
21. 傍線部⑬「と思ふこそ、またをかしけれ」の係り結びを指摘せよ（係助詞と結びの語・活用形）。
22. 「と言ひたることども」とは、何を指すか。本文に即して答えよ。
23. 【文学史】この作品の作者名と、作者が仕えた人物、成立した時代、文学のジャンルを答えよ。また、この作品とともに「古典三大随筆」と呼ばれる残り二つの作品名と作者名を答えよ。